

2026年度	科目名	教育経営特論
	英語名	Advanced Seminar on School Administration
	科目属性	専門科目A群
	担当教員	古壕 典洋
	単位数	2単位(SC 0.5単位)

【授業の目的・ねらい】

- 1 学校経営の原理について理解する。
- 2 コミュニティ・スクールの歴史、現代的意義、課題などについて理解する。
- 3 国際機関、国、地方などのレベルでの経営・行政の現状と課題について理解する。
- 4 学校間連携のありかたについて理解する。
- 5 学校と家庭・地域社会の連携のあり方について理解する。

【授業計画】

教育経営の原理—計画性、多様な教育観の調整、学校の創造性、カリキュラムの開発、コミュニティ・スクールの導入、学習組織体としての学校の創造などの視点から、関連の理論と実践事例を有機的に関連させながら考える。その際、共生を重要な視点の一つとしている生涯学習との関連を重視する。また、単位学校の経営だけでなく、国全体とグローバルなレベルで共生する経営についても考える。

※以下に示す回数は15回(2単位)の講義内容を想定した学修量を示す。

- 第1回 カリキュラム開発
- 第2回 学校における時間
- 第3回 教科の意義
- 第4回 潜在的カリキュラム
- 第5回 脱学校化の問題
- 第6回 教育と選抜
- 第7回 職業的社会化
- 第8回 授業経営
- 第9回 学校の創造性
- 第10回 コミュニティ・スクール
- 第11回 リーダーシップ
- 第12回 開かれた教育経営
- 第13回 学習組織体としての学校
- 第14回 教育経営の原理

第15回 カリキュラムと学校組織

【評価方法】

「スクーリング評価」(25%)、「レポート評価」(25%)、「科目修得試験」(50%)の割合で総合して評価

【教科書】

1. 高見茂・服部憲児編『教育経営』(教職教養講座 第14巻)協同出版、2017
ISBN 978-4-319-00336-5

【参考図書】

1. ピーター・M・センゲほか(リヒテルズ直子訳)『学習する学校—子ども・教員・親・地域で未来の学びを創造する』英治出版、2014